授業科目名	オリンピック／パラリンピックの理念と歴史	単位数	2
担当教員名	杉山正明	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	スポーツ庁「オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業」担当大学にて、全国の研究指定校にオリパラ教育を推進した。		

「学位授与の方針」との関係

・共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志をもつこと。

・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身に付けていること。

授業の到達目標及びテーマ

（１）近代オリンピック・パラリンピック競技大会の理念について歴史的事実を踏まえて理解する。

（２）今まで実施されてきたオリンピック・パラリンピック競技大会のエピソードから、スポーツの持つ価値を見出すことができる。

（３）豊かなスポーツライフの構築とスポーツを通じた共生社会のあり方について意見を持つことができる。

授業の概要

クーベルタンが近代オリンピック大会を復興したきっかけおよびその理念は「オリンピズム」といわれている。その理念は今なお受け継がれて私たちにスポーツの素晴らしさを与えてくれている。また、パラリンピック大会の誕生の背景や大会の変遷を検証していくと、時代とともにスポーツそのものの在り方の変化が感じられる。オリンピック・パラリンピック競技大会のエピソード等を振り返りながら、その理念を理解し、スポーツの持つ価値、豊かなスポーツライフの構築ならびにスポーツを通じた共生社会のあり方について印刷教材をもとに考察していく。

授業計画

第１回：古代オリンピックの変遷
第２回：クーベルタンと近代オリンピック復興
第３回：オリンピック憲章とオリンピック・ムーブメント
第４回： オリンピズムとフェアプレー
第５回：聖火リレーの起源
第６回：嘉納治五郎と日本のオリンピック大会
第７回：1964 東京オリンピックと 2020 東京オリンピック
第８回：オリンピックと経済及び環境問題
第９回：オリンピックの光と影
第１０回：パラリンピックの歴史とその意義
第１１回：パラリンピックの種目と用具の進化
第１２回：パラリンピックがもたらす社会への影響
第１３回：スポーツの持つ価値
第１４回：豊かなスポーツライフの構築
第１５回：スポーツを通じた共生社会のあり方

定期試験

教科書 （１）石出 法太 、石出 みどり『これならわかる　オリンピックの歴史　Ｑ＆Ａ』大月書店　２０１６年
参考文献 （１）ローラント・ナウル（２０１６）『オリンピック教育』大修館書店 （２）講談社 編（２０１４）『文学者の見た世紀の祭典　東京オリンピック』講談社 （３）日本オリンピック・アカデミー編著（２０１６）『ＪＯＡオリンピック小事典』メディアパル
学生に対する評価 レポート評価（５０％)、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。